



おぐら
尾倉

校訓
自主
創造
協力



令和4年6月9日(木)発行
校長 栗原博巳
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

＜学校教育目標＞

豊かな心もち、健やかでたくましく行動する生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなでつくる尾倉中学校～

＜目指す生徒像＞

- ① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
 - ② 健康で明るく、思いやりのある生徒
 - ③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
- ◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集団生活における規律とマナー

【生徒会長 江口さんの話】

こんにちは。この5・6時間目は年に一度しかない生徒総会が行われます。生徒総会とは、尾倉中学校をより良くするために、全校生徒で考え、話し合う大切な時間です。

全校生徒で話し合うため、自分とは違う意見が出ることもあると思います。自分と違う意見が出た時は、その意見にも耳を傾け、みんなでより良い尾倉中学校を創るための話し合いができればいいと思います。

そのためにも、このあと議長が説明する注意事項を守って話し合いを進めましょう！！

令和4年度生徒総会が行われました！

6月7日(火)令和4年度尾倉中学校生徒総会が行われました。生徒総会とは、生徒会の会員であるすべての生徒が、尾倉中学校をよりよくするためにはどうすれば良いかを考え、議論し、生徒総会を通して集約した意見を学校へと要望し、よりよい学校へと導いていくものです。

その目的は、① 生徒の自主的な活動により、学校生活をより良い学校にする。② 生徒の力で学校を良くできることを実感できる。だと思います。生徒会の会員は全生徒です。生徒会活動は、皆さんが充実した学校生活を送ることができるためにあります。各学級から出てきた意見は生徒総会で話し合われ、先生方で検討されます。

「自主的」「すべての生徒」「よりよい学校」このワードを同時に達成するために必要なことは、皆さん一人一人が自分事として、自分の意見をもって考えられることです。他人まかせという意識ではより良い学校へと変わることが難しくなります。今思っていることはもちろん、人の意見を聞いて改めて考えたことも自分の中でもう一度振り返ってみて、どうすれば「より良い尾倉中」になるのか考えることができるといいですね。

生徒総会もそうですが、代議・専門委員会、教科の授業、学活、道徳、部活動など自分の意見を言える場が皆さんにはあります。生徒総会を機に、しっかりと意見を伝えることができるといいですね。自分自身にとっても今まで以上の尾倉中にしていくために。

今年の生徒会スローガンは『**覇気**』です。「覇気」とは、物事に積極的に取り組むという意味があります。尾倉中での学校生活が有意義なものとなるようにとの願いが込められています。このスローガンの下、今年1年間頑張りましょう！

【校長先生の話】

みなさん、こんにちは。今日は、年に1度開催される、尾倉中学校生徒総会です。生徒会活動は、生徒全員が「生徒会員」として生徒会を組織し、学校生活が充実するように活動していく活動で、生徒総会には大きく2つの意味があります。

第一に、尾倉中学校の全生徒が、安全安心で、楽しく充実した学校生活を送ることができるようにするためにはどうしたらよいかを全員で考え、意見を出し合って決定していく場です。

第二に、物事を進めていくその進め方を学ぶ場でもあります。

今年も生徒会執行部からスローガンが提案されています。それが、「**覇気(はき)**」です。今よりももっと、物事に積極的に取り組む気持ちという意味で、「**テキパキ**」の「**パキ**」や「**はきはき**」の「**はき**」は、語源が「**覇気**」だと言われています。

このスローガンのもと、全員が一つになり、よりよい尾倉中学校にするためのすばらしい総会となることを期待しています。



＜生徒総会での話し合いは当事者意識が大切！＞

話し合いの結果が、学校生活に反映されるような議題は、生徒はより身近な問題として当事者意識をもって取り組むことができます。その成果や効果として次のようなことが考えられます。

- 一人ひとりの意見が反映され、お互いの考えを理解することができます。
- 様々な発想に触れ、自分の考えを再構築することができます。
- 生徒の様々なアイデアを生み出すことができます。

全校生徒の前で発言する機会は生徒にとって貴重な経験になります。話す内容、話し方等を工夫し、伝えやすい方法を考えることで、聞き手にとっても人の心を動かすプレゼンテーションの方法を学ぶ場となります。

また、一人一票を投じる機会も貴重な体験です。多数で可決される場合もあれば、数票差で可決されるといった場合もあるので、目前で物事が決まる緊張した雰囲気は心に残ります。

また、このとき、採決までのプロセスが大切になります。十分に意見を出し合い、採決をすることで決まったことに対する当事者意識が高まります。充実した生徒総会が行われた後の生徒は、「今、自分は何をすべきか」が自然と理解され、実行されていきます。